

2021年8月17日

お客様ならびにお取引先様 各位

ゆいまーる沖縄株式会社

【第3報】「シマノネ 黒糖入り小箱」自主回収に関するお詫びとお知らせ
-調査結果と今後の対応について-

平素より弊社商品をご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。

2021年7月8日（第1報）、2021年7月9日（第2報）でお知らせ致しました、「シマノネ 黒糖入り小箱」の自主回収に関するお詫びとお知らせに続いて、調査結果と今後の対応についてお知らせ致します。一部、第1報、第2報と重複する内容がございますが、お目通し下さいますようお願い申し上げます。

1. 今回の調査対象製品情報

- ・商品名：シマノネ 黒糖入り小箱
- ・製造年月日：2021年3月31日 同ロット製造数：87 k g（約17,400ピース）

2. 当該製品の製造工程

【黒糖メーカー：琉球黒糖】

①原材料受入→②投入→③混合→④加熱溶解→⑤攪拌→⑥専用ヘラにて平板へ移す→⑦切断（専用カッター）→⑧型抜き→⑨冷却→⑩選別→⑪個包装詰め（専用ピロー機）→**⑫仕分け（個包装の不良品除去）**→⑬金属探知機(Fe1.2mmSus1.5mm)→⑭計量→⑮箱詰（手作業）→⑯計量確認→⑰目視確認→⑱保管→⑲出荷

【ゆいまーる沖縄】

⑳入荷→㉑出荷（ゆいまーる沖縄より小箱へ箱詰めを行う作業所へ出荷）

【作業所】

㉒入荷→**㉓仕分け・検品*（個包装黒糖の不良品除去）**→㉔箱詰め（シマノネの小箱へ箱詰め）→㉕目視確認→㉖出荷（作業所からゆいまーる沖縄へ）

【ゆいまーる沖縄】

㉗入荷→㉘保管→㉙検品：目視確認（外装、賞味期限）→㉚出荷

*今回、「**㉓仕分け・検品（個包装黒糖の不良品除去）**」の工程（最終製品の出荷前）で、カビの発生している黒糖（個包装1袋）が発見されました。

3. 調査方法

①製造状況 ②作業状況 ③菌検査（真菌等） を実施いたしました。

4. 状況報告

- ①黒糖メーカーでの製造記録（原材料受入管理、製造日報、官能検査／水分値／水分活性値記録表）、作業記録簿を確認したところ、製造工程管理上の異常についての記録はありませんでした。
- ②黒糖メーカーでの同ロット、他のロットでの該当製品を同様の劣化は発生しておらず、カビの発生は当該品1個のみでした。

5. 検査結果

今回、「当該製品と同ロットで製造された黒糖」、そして「カビが発生した黒糖」の2つの菌検査を実施いたしました。

①「同ロットで製造された黒糖」の菌検査の結果 *添付資料①

- ・同ロットで製造された黒糖の菌検査を行った結果、該当製品を同様の劣化可能性は見られませんでした。

②「カビが発生した黒糖」の菌検査の結果 *添付資料②

- ・カビが発生した黒糖（個包装1袋）の菌検査（真菌等）の結果は、菌種名：*Eurotium spp* という真菌でした。

菌検査の結果から特定された真菌（菌種名：*Eurotium spp*）は、毒性のある「カビ毒」の産生は報告されておらず、人体の健康に悪影響を及ぼすカビ毒の可能性は低く、お召し上がりになられたお客様も健康被害の可能性は低いと思われまます。2021年8月13日現在、購入されたお客様から同様の劣化報告、健康被害等のお知らせはいただいておりません。

6. 原因について

「4. 状況報告」と「5. 検査結果」から、当該製品における劣化について、以下の2点が原因として推定されます。

- ①黒糖メーカー、ゆいまーる沖縄、箱詰め作業を行う作業所間での輸送における衝撃等の偶発的な外的要因によって、個包装のピンホール、もしくは破損などの不具合が起き、そこから酸素（空気/外気）が流入したことによってカビの発生につながった。
- ②製造工程「②仕分け（個包装の不良品除去）」の検品作業において見落とされた個包装内の型崩れ・欠片等の不成型品が、出荷後輸送中の揺れや振動等により内側からフィルムを傷つけ、そこから酸素（空気/外気）が流入したことによってカビの発生につながった。

7. 再発防止の対策

今回の劣化発生について、製造工程「⑫仕分け（個包装の不良品除去）」～「⑬仕分け・検品*（個包装黒糖の不良品除去）」での原因が推定されます。したがって、この工程において以下の通り対策を実施いたします。

① 黒糖メーカーでの規格、箱詰め方法の変更

現状：個包装バラの状態段ボール1箱に7kg入でゆいまーる沖縄へ出荷。

今後：個包装バラ1kg単位で小分け袋詰め作業を行い箱詰めし、製品同士の衝突を軽減させます。さらに万が一個包装が破損した時の追加対応として、1kg単位の小分け袋に乾燥剤を封入し水気（湿気）対策をいたします。

② 黒糖メーカーでの黒糖製造工程⑫の検品作業員については、日替わりにて検品作業員が交代制となりますが、今後はミスのある箇所がはっきり判断できるよう固定制に体制強化を徹底いたします。

③ 作業所での工程「⑬仕分け・検品*（個包装黒糖の不良品除去）」においても、引き続き個包装の中の欠片／型崩れの検品を徹底して実施いたします。

8. 出荷の再開について

「7. 再発防止対策」を関係者へ周知、作業内容を確認し、保健所への報告を実施した上で、2021年9月下旬頃より出荷を再開させていただく予定でございます。

9. 当該商品回収のご協力をお願い

引き続き「シマノネ 黒糖入り小箱」の、2020年9月1日以降に店頭等で販売された商品（賞味期限内の商品）、および賞味期限が2022年1月31日の商品において、消費者様のお手元に該当商品がございます場合、回収をさせていただきます。

つきましては、誠に恐れ入りますが、お客様ならびにお取引先様へ、引き続き回収のご協力をお願い申し上げます。

【一般のお客様】

・お手元にごございます場合は、お客様お名前、ご住所、お電話番号、返金方法について「銀行振込」か「現金書留」の希望をお書き添えの上、以下の商品返送先まで対象商品を料金着払いにてお送りくださいませ。

・消費者様からのお問い合わせ、返品希望がございました場合は、弊社にて対応させていただきますのでご相談くださいませ。

【お取引先様】

・お客様および消費者様へ店頭等でお知らせを行う場合、別紙にて案内文のご提案をさせていただきますので、必要な場合はご利用ください。

・お客様および消費者様からのお問い合わせ、返品希望がございました場合は、弊社にて対応させていただきますのでご相談くださいませ。

*製品回収後の対応について

回収いただいた製品は、「料金着払い」で弊社まで返送をお願い致します。後日、回収された製品のご返金をさせていただきます。その他、回収等で発生した実費につきましても対応いたしますので、ご相談くださいませ。

*商品返送先・お問い合わせ窓口

ゆいまーる沖縄株式会社 経営企画室（担当：小嶺、鈴木）

住所：〒901-1104 沖縄県島尻郡南風原町宮平652

電話番号：098-882-6990（受付／平日10：00～18：00）

メールアドレス：info@utaki.co.jp

お取引先の皆様には、多大なご迷惑をおかけしてしまいますことをあらためてお詫び申し上げます。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

添付資料①「同ロットで製造された黒糖」の菌検査の結果

2021年7月14日

琉球黒糖株式会社 御中

検査成績報告書

検体名 : 黒糖 (shimanone)

管理 No. : 56802

Lot No. : -

製造日 : -

試験日 : 2021年7月7日

株式会社 沖縄ウコン堂
沖縄県宜野湾市伊佐4-4-7

責任者	試験者
	

検査項目	試験値	試験法等
一般生菌	300個/g以下	標準寒天平板培養法
大腸菌群	陰性	デゾキシコレート寒天平板培養法
真菌	100個/g以下	ポテトデキストロス寒天平板培養法
水分含有率	4.60%	加熱乾燥式水分計
水分活性	0.75aw	水分活性測定装置

備考
・一般生菌数 : 5個/0.1g 0個/0.01g 0個/0.001g
・真菌数 : 0個/0.1g

検査報告書

作成年月日

2021年8月6日

琉球黒糖株式会社 御中



株式会社クロックワーク
 沖縄県那覇市牧志2-18-10
 松番ビル1F
 TEL: 098-941-3929
 FAX: 098-941-3930

提出された検体について、検査を行った結果を下記のとおりご報告いたします。

1.検体名
 黒糖(お申し出品)

2.分析検査内容
 異物検査
 受注番号: 8021070058

3.分析検査結果
 検査方法 : カビの同定(遺伝子解析による)
 3-1 カビの同定(写真-1)

■属の参考資料

菌 種 名	集落形態	微細形態	生態・分布
<i>Eurotium spp.</i>	【大きさ】 中～大 (M40Yで10～14日 間培養) 【色】 黄色、橙色 紅色等 集落の裏は無色～ 黄色、紅色 【表面】 ピロード状、粉状、 平坦	らせん状の造菌器が発 達して黄色の閉子囊殻 になる。閉子囊殻は緑 色の分生子頭と黄色～ オレンジ赤色の菌糸に 覆われ、球型、殻壁は 薄く、膜質、1層の多角 細胞からなる。	世界中に分布。すべての種が好乾性。 土壌、穀類、貯蔵食品、低水分加工食 品、たばこ、茶、ハウスダスト、皮革、 紙、繊維、工業製品、各種の日常生活 用品、絵画、文化財などから検出。 主要種として <i>E.amstelodami</i> 、 <i>E.chevalieri</i> 、 <i>E.halodhilioum</i> 、 <i>E.rubrum</i> などが あり、いずれもマイコトキシンを産生しない。 <i>Eurotium</i> の子囊胞子は、一般的なカ ビの分生子よりはやや強い耐熱性が報 告されている。

■種の参考資料

<i>E.rubrum</i>	—	—	【生態分布】 乾燥 【地理】 世界各地に分布。 土壌、植物、空中、食品(穀類)、繊維、 紙、木材、皮革、体表、ハウスダスト、 飼料、乾草 マイコトキシンを産生しない。
備 考	※サンプルから得られた塩基配列と最も高い相同値(%Match)を示した菌種は以下の通りであつた。 <i>Eurotium rubrum</i> (CBS104.18)		

【菌名表記について】

種名は、属名と種形容名の2語で表し、イタリック体の少文字とし、属名の頭文字のみ大文字とします。

属名までしか同定できずに種名が決定していない場合には、属名の後にsp.(speciesの略)またはapp.(speciesの複数を表す略号)と記します。

◇検査結果は提供頂いた検査試料の結果であり、検査試料の母集団もしくは商品を保証または認証するものではありません。

◇弊社は当判定結果に限り責任を負うものであり、分析結果の取り扱い或いは分析結果によって生じる問題について関与するものではありません。

◇本成績書を他に掲載するときは弊社および株式会社シー・アール・シー様の掲載規約をお守りください。